

平成 25 年 6 月 19 日
京福電気鉄道株式会社

嵐電の拠点施設「嵐山駅」

本年7月13日(土)リニューアルオープン

京福電気鉄道株式会社(本社:京都市中京区、西田寛社長)は、基幹事業の嵐電(京福電鉄嵐山線)が平成22(2010)年3月25日、開業100周年を迎えることができました。

私たちは、「これまでの100年」を支えて下さった皆さまへの感謝の気持ちに加え、「これからの100年」に向けて、「輸送の安全とお客様サービス向上への飽くなき追求、京都ブランドの発信」を軸に、様々な取り組みを進めています。

嵐電の拠点施設「嵐山駅」は、平成14(2002)年10月26日、「嵯峨嵐山観光活性化の起爆剤」をテーマに、森田恭通氏(GLAMOROUS co.,ltd.)のデザインによりリニューアル、「嵐山駅はんなり・ほっこりスクエア」の愛称でご愛顧いただいております。

その嵐山駅は平成23年12月から、近隣・地域の皆様のご協力のもと改修工事に着手、本年3月15日の駅ホーム・駅務室の供用開始に続き、7月13日(土)、以下の概要でリニューアルオープンいたします。

1. リニューアルエリア

- ・嵐山駅は平成14年10月、駅ビルと駅前広場、コンコースを、「嵐山駅はんなり・ほっこりスクエア」としてリニューアルいたしました。
- ・今回、駅窓口(駅務室)と、平成14年リニューアル時に手を加えなかった、ホーム及びホーム屋根、駅構内の線路周辺用地一帯を改修整備いたしました。

2. リニューアルコンセプト

(1) 「電停のある小さなまち」

- ・嵐山のまちと駅構内を仕切っていた改札口を撤去、駅敷地全体を出入自由な「広場」として、お客様、地域の皆様に開放します。駅東出口も新設します。
- ・ホームと線路の周囲を、「電停のある小さなまち」をテーマに整備、緑地や池、回遊路、ベンチを配置、自由に回遊・滞在していただけます。
- ・「地域と一体の駅」「地域と一体の嵐電」を形にした、シンボリックな駅空間を創出いたします。

(2) 「京都・嵐山だけに許される世界唯一の駅」

- ・既存の「光と水、3千本の竹でしつらえた駅」に加え、森田恭通氏が、「キモノ・フォレスト（友禪の光林(高さ2m、約600本)）」をデザインし、これを駅構内に展開、「日本と京都を表現した one and only の駅空間」を創出、発信します。

(3) 「京都観光・嵯峨嵐山観光の出発点」

- ・京都・嵯峨嵐山の観光情報発信、花灯路など地域活性化策への協力、ご案内や救護などのホスピタリティ業務を更に強化、「観光の出発点」にふさわしい駅づくりに取り組んでいきます。

また、今回のリニューアルに合わせ、ショップスペースを更に拡充、新規店舗もお目見えし「おなじみの京都」に加え、「ここにしかない、ここだけでしか手に入らない」特色あるアイテムの販売、世界標準のブランド構築にチャレンジしていきます。

店舗情報は、7月上旬に詳細をお知らせいたします。

以 上